

世界で活躍できる研究者戦略育成事業「世界的課題を解決する知の『開拓者』育成事業」
令和5年度 育成対象者 (T-GEEx フェロー) 募集要項

1. 事業概要

本事業では、大学院教育から世界的研究者として活躍するレベルをつなぐ包括的な若手研究者育成プログラムの一環として、世界的研究拠点や国際的産学連携プロジェクトを企画・運営するトップ研究者やベンチャー起業家を輩出することを目指す。このため、本事業では、育成対象者全員に高いレベルのトランスファラブル・スキルを習得させ、研究ネットワークの構築を行うフェーズ1と、育成対象者ごとに方向性に合った育成計画を策定し、その実践を通じて研究力や産学連携力を飛躍的に高めていくフェーズ2を設定し、支援を行う。

また、上記の目的を実現するため、東海圏を中心に他の学術機関や企業と協力してコンソーシアムを形成し、若手研究者育成に関する知見やノウハウを共有し、協働することにより、高度に優れた人材を育成する場を構築する。

参考) 本事業の Web サイト

<https://www.t-gex.nagoya-u.ac.jp/>

2. T-GEEx フェロー (以下、「フェロー」) への育成内容等

本プログラムでは、目標とする知の「開拓者」の具体像がフェローごとに異なることから、各フェローが、国際共同研究、学際共同研究、産学連携、起業と、これらを組み合わせた拡張トラックの中から方向性 (育成トラック) を選定し、育成計画を策定・実践する。トラックの選定にあたっては、特定の研究分野や経験を前提とするものではなく、各フェローにとって新たな挑戦となるトラックを選定することを推奨する。

具体的な育成内容には以下の項目が含まれる。

(1) 採択初年度に限り、1人当たり50万円 (予定) を上限にスタートアップに要する研究費を支給する。

(2) 自立的研究環境の構築と研究推進を支援する。

① 研究スペースの措置

フェローは高等研究院の兼務とし、必要に応じて、研究スペース50㎡程度を大学の負担で措置する。

② 学術メンター・企業アドバイザーの配置

フェローには、研究計画に応じて学術メンターや企業アドバイザーを割り当て、研究推進の加速化を支援する。

③ URAによる支援

フェローの活動については、学術研究・産学官連携推進本部のURAが、研究推進、共同研究、アウトリーチ活動、知財管理等の支援を行う。

- (3)原則として採択2年度目以降, 国際共同研究, 学際共同研究, 産学連携, 起業の4つのトラックから選択した研究費申請書に基づき, 審査の上, 1人当たり300万円/年(予定)を上限にテラーメード型研究費を支給する。
- (4)コンソーシアム主催のエキシビジョン, 若手研究者合同合宿, 異分野・異文化コミュニケーション能力やマネジメント能力などのトラスファラブル・スキルの獲得などに関わるプログラムへの参加を必須とし, その経費を支援する。

3. 募集人数

本学にて, 4名程度

(参考)

過去のフェローの採択数。

(令和3年度 名古屋大学 8名, 令和4年度 岐阜大学 1名, 名古屋大学 5名)

4. 育成期間

令和5年4月～令和10年3月末まで

※育成期間は, 原則5年。

ただし, フェローの異動等による流動性を妨げるものではない。

5. 応募資格

原則, 次のとおりとする。 ※研究分野は問いません。

- (1)令和5年4月1日までに, 国際公募等により本学での雇用が開始される研究者(常勤。特任教員を含む。)
- (2)博士号取得後10年以内または同等程度の研究歴を有する研究者であり, 令和5年4月1日時点で40歳未満(臨床研修を課された医学系分野に在籍した者においては43歳未満)であること。なお, 出産又は育児等により研究を中断した者については, この限りでない。

6. 応募方法

応募に当たっては, 以下の様式を提出すること。

<提出様式>

「令和5年度 世界的課題を解決する知の『開拓者』育成事業申請書」

<提出期限> 令和5年1月20日(金)17時

<提出先> 研究協力部研究企画課研究企画グループ

Mail: t-gex@adm.nagoya-u.ac.jp

7. 選考方法

フェローの審査は以下のように実施する。

- (1)学内予備選抜(応募者多数の場合)

学内審査委員により構成される委員会が、コンソーシアムの趣旨に沿って実施する。原則として書類審査により選抜するが、面接審査を行うことがある。

(2) コンソーシアム委員会による第二次審査

岐阜大学、名古屋大学の委員により構成される実務委員会選考・評価委員会（コンソーシアム委員会）が面接審査を実施する。なお、面接審査は、以下のとおり実施する予定である。

開催日：令和5年2月21日(火)※時間は後日通知

8. その他

- (1) フェローが選任された所属部局においては、フェローの研究エフォートを50%以上確保するよう配慮すること。
- (2) フェローのダイバーシティを確保するため、外国人研究者、外国の大学で学位を取得した日本人研究者、外国で通算1年程度以上の教育研究歴のある日本人研究者、国内或いは海外において国際共同研究に従事した経験を有する日本人又は外国人研究者の申請を歓迎する。
- (3) 提案が同等のレベルと判断される場合は、女性の申請を優先する。
- (4) 世界で活躍できる研究者戦略育成事業の予算状況により、支援規模を見直す可能性がある。

以上